

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告掲載 URL http://cleanup.jp/
単元株式数	100株

【株式に関するお手続きについて】

- 証券会社等の口座に記録された株式
株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等(口座管理機関)にお問合せ下さい。
 - 特別口座に記録された株式
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せ下さい。
 - 未受領の配当金
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せ下さい。
- 【株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関】
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 【同連絡先】
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)



キッチンから、笑顔をつくろう

株主の皆さまへ

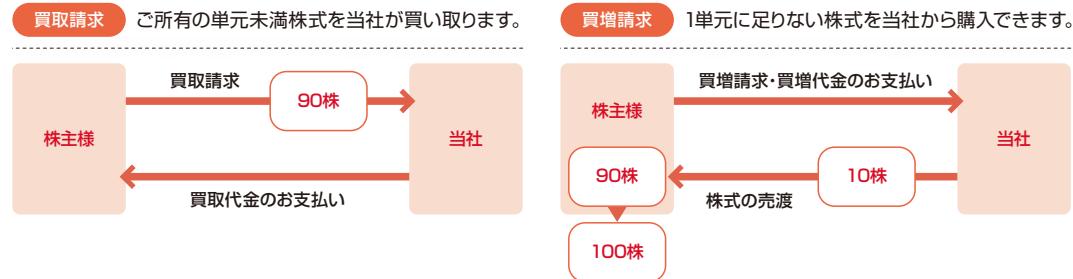
第60期 第2四半期
報告書

2012年4月1日から 2012年9月30日まで

■ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式につきましては市場で売買することはできませんが、口座管理機関を通じ、当社に対して買取請求または買増請求をすることができます。お手続きの方法等につきましては、口座管理機関(証券会社等または三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部)にお問合せ下さい。

(例) 株主様が単元未満株式を90株ご所有の場合



■ 特別口座をご利用の株主様へ

特別口座は証券会社等に開設された口座と異なり、自由な売買ができる口座ではありません。株式の売買等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設及び特別口座からの振替手続きをお勧めいたします。お手続きの方法等につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部までお問合せ下さい。

クリナップ株式会社

東京都荒川区西日暮里6-22-22 〒116-8587 TEL 03(3894)4771



証券コード 7955



株主の皆さまへ

クリナップの企業理念

クリナップは、創業60周年(2009年10月)を契機に、『第二の創業』に向けた新たな一歩を踏み出しております。

■ 新企業理念



上記三つの理念(創業者理念・企業理念・行動理念)に根ざした強い人材・組織・事業を育成することにより、経営を強化/高度化し、“The Kitchen Company”を確立します。

売上・利益とも大幅に回復。
成長戦略を再始動させ、
取り組みを本格化しております。



代表取締役社長

井上 強一

2013年3月期第2四半期累計期間の 連結決算ハイライト

- 売上高は、当初予想を上回るとともに、前年同期比 18.7%増となりました。
- 利益面では当初予想を大幅に上回り、営業利益が前年同期比 349.2%増、経常利益が同 395.4%増、四半期純利益が 12 億 90 百万円となりました。(前年同期は 1 億 49 百万円の損失)

復旧・復興に専念した前期の「実りある1年」を基礎に、成長戦略を再始動するなかで、当期に入っても増収ペースを確保しております。

当上半期の最終月9月で震災発生から丸1年半が経過しました。当社は昨年6月に発売した「新クリンレディ」を起爆剤に業績を急回復させ、四半期売上高は、前第2四半期から当第2四半期までの5四半期の間、前年同期を上回る好調な推移となっております。住宅設備機器業界はまだまだ楽観できない状況が続いておりますが、当社の売上と利益は確かな拡大基調が戻ってきたものと評価しております。

震災発生前の当社は、2009年10月の創業60周年を『第二の創業』と位置づけ、ブランド政策や商品政策の刷新、収益構造改革などに取り組み、2011年3月期には確かな成果を得始めたことから、成長戦略を加速させようと

しておりました。震災はその矢先の出来事でした。

この結果、1年遅れとなりましたが、大きな痛手の中で前期の増収を基礎とし、2013年3月期より成長戦略を再開して、その取り組みを本格化しております。経営基本方針として「12中計を徹底的に推進し、“ザ・キッチンカンパニー”を確立する」ことを目指して、下記の通り6つの取り組みを推し進めております。

なお、この1年の遅れは、私どもにとって決して「失われた1年」でも「空白の1年」でもなく、むしろ、戦略・組織・人材、そして社員のマインドなど全ての面でより強化された「実りある1年」であったと確信しております。

■ 連結売上高の四半期別推移 * ()は前年同期比



2013年3月期 経営方針

12中計を徹底的に推進し、
“ザ・キッチンカンパニー”を確立する

- 1 クリンレディを核としたシステムキッチンのシェアアップ
- 2 リフォーム政策の推進
- 3 ショールームの総合競争力強化
- 4 トータル品質の強化およびトータルコストの低減
- 5 海外事業の拡大
- 6 現場力を活かす人事環境づくり

株主の皆さまへ

積極的な商品政策やショールームの提案力強化などによって、
当社シェア向上、来場客数増大など、成果の更なる拡大を図ってまいります。

成長戦略再始動の具体的な取り組みは、当期においては特に、商品政策とショールーム政策に顕著に表れております。前期は震災からの早期正常化を第一優先とし、商品開発などのR&D投資やショールームリニューアルなどの設備投資などを極力控えていたためです。

第一に、商品政策においては、商品力の更なる強化に向けたモデルチェンジを積極的に進めております。前期は主力のシステムキッチンにおいて「クリンレディ」のフルモデルチェンジを行い、これを核とした営業政策を展開しておりますが、当期は、システムキッチン「ラクエラ」のモデルチェンジ、システムバスルーム「アクリアバス」のフルモデルチェンジ（実施自体は前期末）、洗面化粧台「ファンシオ」のモデルチェンジなどにも着手し、商品群の総合的な強化を図りました。この数年間の商品政策の展開により、当社商品の業界シェアは着実に向上してきております。特に、コアとなるシステムキッチンにおいては当上半期実績で19.3%、3年半前の2009年3月期に比べ

■ 商品別の当社シェア推移



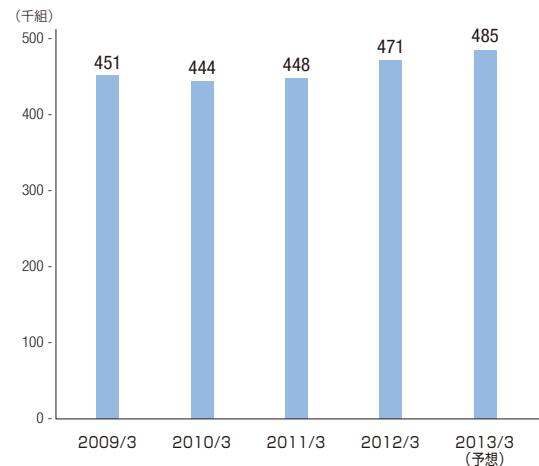
4.1ポイントの向上となっております。

第二に、ショールーム政策において、2012年4月から10月の7カ月間で9拠点について、移転、全面リニューアル等を行い、「イベント対応型ショールーム」や「空間展示ショールーム」など、新たなコンセプトのショールームが誕生しております。特に、7月にオープンした「キッチンタウン・クリナップ・大阪」は、クリナップ最大規模を誇り、従来にない全く新しいコンセプトのもとで新設されたものです（詳細はP4参照）。当社ショールームへの来場者数は徐々に増加傾向を示しており、当期は48万組超のご来場を見込んでおります。

その他、従来より推し進めております「リフォーム政策」、前期より本格化を始めた「海外事業拡大策」などについても順調に進捗しております。

株主の皆様には、いよいよ本格化し始めた当社の成長戦略にご期待いただくとともに、引き続き当社の経営にご支援をお願い申し上げます。

■ 当社ショールームへの来場者数の推移



特集: “The Kitchen Company” としての取り組み ~ 「キッチンタウン・クリナップ・大阪」

KITCHEN TOWN Cleanup

新しい笑顔をつくる、クリナップ最大の“天空のショールーム”
~ひとりひとりのキッチンストーリーへ~



2012年7月27日、“キッチンから、笑顔をつくろう”という企業理念のもと、「ひとりひとりのキッチンストーリーへ」をコンセプトに、新たなショールーム、「キッチンタウン・クリナップ・大阪」がオープン。梅田阪急ビルオフィスタワーの26階に3方向ガラス張りで見下ろす市街を望む、まさにクリナップ最大の“天空のショールーム”。自分らしく生活を楽しむひとが、自分だけの、自

分にピクニックなキッチンに出会える場を提供します。個性あふれる6つのキッチン・ルームのほか、お料理教室を定期的に開催するキッチン・スタジオ、旭屋書店様のご協力を得た、キッチンから連想される書籍・雑誌を自由に閲覧可能なライブラリーなど、住設メーカーの発想を超えた試みを満載しています。

見どころ Kitchen Rooms

キッチンの楽しみ方に出会える6つの部屋を備えた「キッチン・ルーム」は、「キッチンタウン」の見どころの1つ。当社が組織するサロネーゼが、月替わりでキッチン空間をコーディネートします。



詳しくは「キッチンタウン」と特設WEBサイトをご覧ください ▶ <http://cleanup.jp/kitchen-town/index.html>

主なトピックス

ショールーム関連

“価値提供”の強化に向け、各地のショールームを全面リニューアルオープン

お客様との大切な接点であるショールームでの価値提供を強化し多様化するニーズに対応していくため、各地のショールームを全面改装してリニューアルオープンしました。クリナップのショールームは全国で102カ所。これからも、お客様への“価値提供”を切り口に、新しい提案を盛り込んだ改装・新設を順次進めてまいります。

改装のポイント

イベント対応型ショールーム

イベント対応力を強化。実際に調理できる「体験キッチンコーナー」を充実。料理教室等の食と暮らしに関する様々なイベントと情報発信を行う。

空間展示ショールーム

ダイニングまでの居住スペースを再現。実際のキッチンと収納、ダイニングとの距離感などを体感できる。



▲熊谷ショールーム



▲高崎ショールーム



▲久留米ショールーム



▲熊本ショールーム



▲広島ショールーム



▲岐阜ショールーム



▲横浜北ショールーム



「ときめき」をコンセプトに、ショールームアドバイザーの制服を一新

全国102カ所のショールームにおける女性アドバイザーの制服を、“優しさ・清潔感がうれしい「ときめき」デザイン”をコンセプトに刷新。優しさや清潔感あふれる新制服でショールームアドバイザーがお客様をおもてなしし、気持ちも新たに家族の笑顔をつくるお手伝いをさせていただきます。

point エプロンを彷彿させるベストのデザイン

商品関連

お客様の声にお応えて、既存商品のデザイン性と機能性をより強化しモデルチェンジ



システムキッチン『ラクエラ』

普及品クラスのシステムキッチン『ラクエラ』を“家具のようなシステムキッチン”をコンセプトに、高い収納力に加えてデザイン性と清掃性を強化しました。好評の「トール足元収納」や高級感のある鏡面扉と木目調扉、特殊コーティングを施した「美・サイレントシンク」などを採用しています。



システムバスルーム『アクリアバス』

業界トップクラスの「保温性」と「安全性」に加え、「清掃性」と「デザイン性」を強化したシステムバスルーム『アクリアバス』を、より美しくすっきりさせるため目地材等を同系色に変更し、さらにクォーツカウンター用下面カバーの選択色を追加することによりデザイン性を高めました。



洗面化粧台『ファンシオ』

水回りの工夫や使い勝手のアイデアを注ぎ込んだ洗面化粧台『ファンシオ』では、スクエア形状で大きな洗面ボール“LLボール”を新たに採用しました。LLはラージ(大きい)&ロング(長持ち)の略称で、上半身がしっかりボールに収まり、洗顔・洗髪時に、ヒジからの水垂れの心配が軽減されます。

CSR関連

「弁当の日」応援プロジェクト発足

2001年に香川の小学校で始まり、現在は全国1,000校以上の小中学校で取り組まれている「弁当の日」。子どもがキッチンに立つことで食を通じて家族の絆、地域の絆を取り戻すという、企業理念に通じるこの取り組みに当社は協賛し、応援プロジェクトに参加。本社隣にある第六日講里小学校を支援し、保護者向け講演会、2回の子供料理教室を経て11月10日に第1回弁当の日を開催しました。



▲イベントで作ったお弁当(見本)



▲自分で作ったお弁当を前に、自信あふれる笑顔の子どもたち

クリナップレスリング部所属の井上選手・鈴木選手が明治杯全日本選抜選手権にて共に金メダル獲得

当社は1992年レスリング部を創部し、これまで企業スポーツとして運営しております。2012年6月16日～17日に代々木競技場第二体育館で行われた明治杯全日本選抜選手権においては、当社が運営する「クリナップレスリング部」所属の67kg級井上佳子選手、72kg級鈴木博恵選手が金メダルを獲得しました。どちらも決勝戦は3ピリオドまで延長にもつれこむ接戦となりましたが、見事両選手とも優勝を勝ち取りました。当社は今後も日本レスリングの発展に貢献してまいります。



▲72kg級 鈴木博恵 選手



▲67kg級 井上佳子 選手



連結ハイライト情報／連結部門別情報

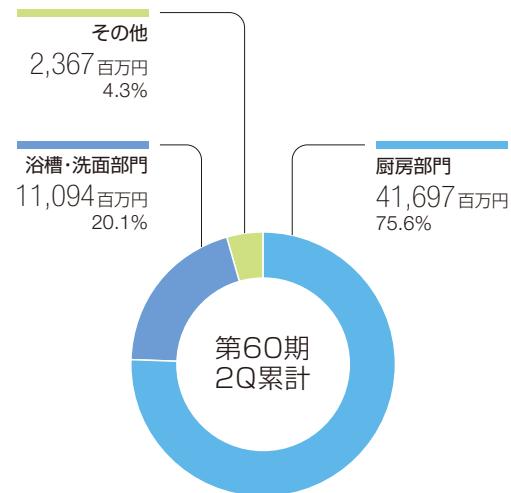
■ 連結財務ハイライト

(百万円)

	第58期2Q累計 2011年3月期2Q累計	第58期 2011年3月期	第59期2Q累計 2012年3月期2Q累計	第59期 2012年3月期	第60期2Q累計 2013年3月期2Q累計
売上高	50,982	100,851	46,478	103,377	55,159
営業利益	1,874	2,876	520	2,370	2,338
経常利益	1,760	2,590	433	2,083	2,146
四半期(当期)純利益(損失:△)	1,249	257	△ 149	2,155	1,290
総資産	78,456	75,146	81,516	84,810	86,517
純資産	53,265	51,942	51,560	53,797	54,760

■ 部門別売上高(連結)

(百万円)



	第59期2Q累計 2012年3月期2Q累計	第59期 2012年3月期	第60期2Q累計 2013年3月期2Q累計
厨房部門	34,688	79,558	41,697
浴槽・洗面部門	9,492	19,050	11,094
その他	2,296	4,768	2,367
合計	46,478	103,377	55,159

厨房部門の主な商品

高級品クラスのシステムキッチン「S. S.」シリーズ、中・高級品クラスの「クリンレディ」シリーズ、普及品クラスの「ラクエラ」、マンション向けシステムキッチン、セクショナルキッチン等で構成されております。

浴槽・洗面部門の主な商品

中・高級品クラスのシステムバスルーム「アクリアバス」、普及品クラスの「hairo(はいろ)」等の浴槽関連商品と、洗面化粧台等で構成されております。

第60期第2四半期累計期間の営業概況

市場環境

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などで景気持ち直しの動きがあったものの、欧州債務問題や長期化する円高、新興国経済の成長鈍化など、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

住宅設備機器業界におきましては、政府による住宅取得支援策の効果もあり、新設住宅着工戸数は緩やかな回復をみせたものの、2012年6月より前年比を下回るなど、楽観できない状況が続いております。

業績・成果

このような中で当社グループは、『ステンレスエコキャビネット』を標準装備したシステムキッチン「クリンレディ」を中心に、2012年3月に清掃性とデザイン性を高めてフルモデルチェンジしたシステムバスルーム「アクリアバス」や、2012年6月にシンプルで洗練されたデザインでモデルチェンジしたシステムキッチン「ラクエラ」等、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るため2012年7月にオープンした新しいコンセプトのショールーム「キッチンタウン・クリナップ・大阪」(梅田阪急ビルオフィスタワー 26階)をはじめとして、全国7カ所のショールームを移

転・改装いたしました。また、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店との連携も深めながら、需要の獲得に努めてまいりました。

生産面では、引き続きVE活動を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前第2四半期連結累計期間に東日本大震災の影響があったこともあり、前年同期比18.7%増の551億59百万円となりました。利益面では営業利益は23億38百万円(前年同期比349.2%増)、経常利益は21億46百万円(同395.4%増)、四半期純利益12億90百万円(前年同期は四半期純損失1億49百万円)となりました。

第60期第2四半期累計期間の部門別の状況

部門別にみますと、厨房部門では、システムキッチン「S. S.」は数量、金額とも大幅減、「クリンレディ」は数量、金額とも大幅増、「ラクエラ」は数量、金額とも増となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比20.2%増の416億97百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも大幅増、「hairo(はいろ)」は数量、金額とも微減、洗面化粧台は数量、金額とも増加いたしました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比16.9%増の110億94百万円となりました。

連結財務諸表



■ 連結貸借対照表の要旨

(百万円)

流動資産 流動資産は前期末比10億27百万円増加し596億88百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が30億70百万円減少した一方で、現金及び預金が10億85百万円、電子記録債権が22億46百万円、商品及び製品が5億43百万円増加したこと等によります。

固定資産 固定資産は前期末比6億78百万円増加し268億28百万円となりました。これは主に、生産設備の増強、ショールーム移転・改装等により有形固定資産が3億36百万円増加、投資その他の資産が2億1百万円増加、情報基盤整備等により無形固定資産が1億40百万円増加したことによります。

資産合計 総資産は前期末比17億6百万円増加し865億17百万円となりました。

	第59期2Q 2011年9月30日現在	第60期2Q 2012年9月30日現在	第59期 2012年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	55,845	59,688	58,661
現金及び預金	23,391	24,820	23,735
受取手形及び売掛金	24,694	25,070	28,141
その他	7,799	9,841	6,829
貸倒引当金	△ 40	△ 44	△ 44
固定資産	25,671	26,828	26,149
有形固定資産	18,801	18,648	18,312
建物及び構築物	7,951	8,064	8,020
その他	10,849	10,584	10,291
無形固定資産	1,719	1,825	1,685
投資その他の資産	5,149	6,353	6,152
投資有価証券	2,414	2,646	2,658
その他	2,857	3,804	3,592
貸倒引当金	△ 122	△ 97	△ 98
資産合計	81,516	86,517	84,810

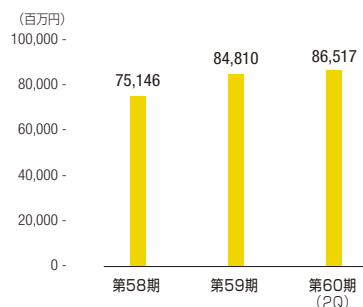
	第59期2Q 2011年9月30日現在	第60期2Q 2012年9月30日現在	第59期 2012年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	20,376	24,510	23,319
買掛金	6,805	6,615	6,454
その他	13,570	17,894	16,865
固定負債	9,579	7,246	7,693
長期借入金	5,067	2,668	3,168
退職給付引当金	1,779	1,775	1,780
役員退職慰労引当金	424	424	424
その他	2,308	2,378	2,319
負債合計	29,956	31,756	31,013
(純資産の部)			
株主資本	51,465	54,595	53,537
資本金	13,267	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351	12,351
利益剰余金	26,071	29,201	28,143
自己株式	△ 224	△ 224	△ 224
その他の包括利益累計額	94	164	259
その他有価証券評価差額金	103	175	270
為替換算調整勘定	△ 9	△ 10	△ 10
純資産合計	51,560	54,760	53,797
負債純資産合計	81,516	86,517	84,810

流動負債 流動負債は前期末比11億90百万円増加し245億10百万円となりました。これは主に、買掛金が1億61百万円増加、信託一括支払いが増加したこと等により未払金が6億25百万円増加、未払法人税等が4億60百万円増加したこと等によります。

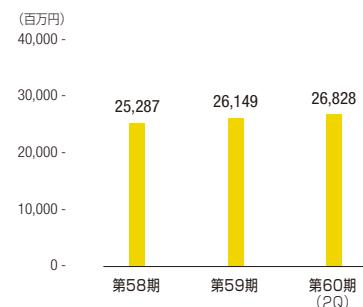
固定負債 固定負債は前期末比4億46百万円減少し72億46百万円となりました。これは主に、長期借入金が4億99百万円減少したこと等によります。

純資産合計 純資産合計は前期末比9億62百万円増加し547億60百万円となりました。これは主に、四半期純利益12億90百万円、配当金の支払い2億32百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前期末の63.4%から63.3%になりました。

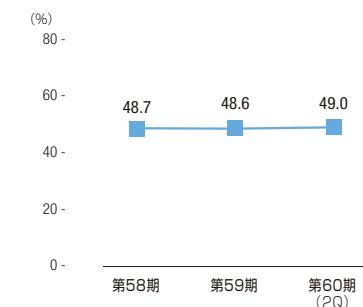
■ 資産合計



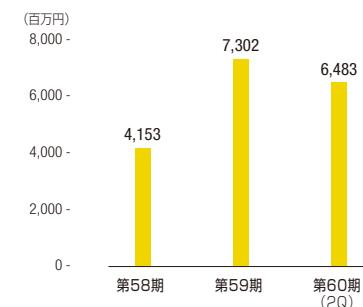
■ 固定資産



■ 固定比率

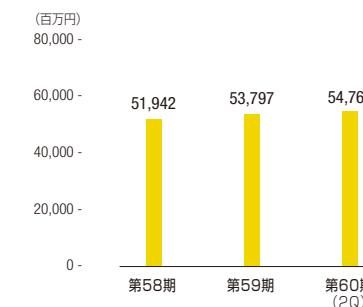


■ 有利子負債

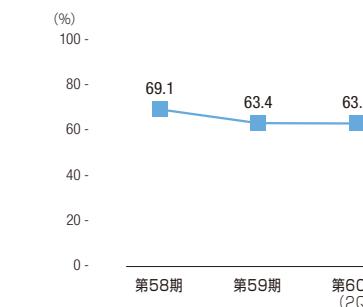


(※) 有利子負債は短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金、リース債務の合計。

■ 純資産合計



■ 自己資本比率



連結財務諸表

売上高 厨房部門における「クリンレディ」の大幅増(数量・金額とも)、浴槽・洗面部門における「アクリアバス」の大幅増(数量・金額とも)などにより、売上高は前年同期比18.7%増の551億59百万円となりました。

売上原価 増収により売上原価が増加しましたが、主力のクリンレディ等の客単価アップ、アクリアバス好調に伴うシステムバスルームのプロダクトミックスの改善、原材料価格の低下などの効果から、売上原価率が前年同期比1.7ポイント低下し65.1%となりました。

販管費 昨年は震災の影響があったことに加え、当期は第2四半期にスポットTVCMの実施、増収に伴う物流費の増加などがあったことから販管費は前年同期比19億85百万円増加しましたが、販管費率は増収効果もあって同1.4ポイント低下し30.6%となりました。

営業利益 増収効果などにより、営業利益は前年同期比349.2%増の23億38百万円となり、売上高営業利益率は前年同期の1.1%から4.2%へと大幅に回復しました。

四半期純利益 前年同期は震災の影響から四半期純損失1億49百万円となりましたが、当第2四半期累計期間は四半期純利益12億90百万円となりました。

■ 連結損益計算書及び連結包括利益計算書の要旨 (百万円)

	第59期2Q累計 2011年4月1日～ 2011年9月30日	第60期2Q累計 2012年4月1日～ 2012年9月30日	第59期 2011年4月1日～ 2012年3月31日
(連結損益計算書)			
売上高	46,478	55,159	103,377
売上原価	31,055	35,933	69,519
売上総利益	15,422	19,226	33,858
販売費及び一般管理費	14,902	16,887	31,488
営業利益	520	2,338	2,370
営業外収益	244	255	473
営業外費用	331	447	760
経常利益	433	2,146	2,083
特別利益	24	71	187
特別損失	479	83	543
税金等調整前四半期(当期)純利益(△:損失)	△ 22	2,134	1,727
法人税等	127	843	△ 427
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益(△:損失)	△ 149	1,290	2,155
四半期(当期)純利益(△:損失)	△ 149	1,290	2,155
(連結包括利益計算書)			
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益(△:損失)	△ 149	1,290	2,155
その他の包括利益	0	△ 95	165
四半期包括利益(包括利益)	△ 149	1,195	2,320

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (百万円)

	第59期2Q累計 2011年4月1日～ 2011年9月30日	第60期2Q累計 2012年4月1日～ 2012年9月30日	第59期 2011年4月1日～ 2012年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,408	3,580	△ 184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,485	△ 1,365	△ 1,967
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,998	△ 1,131	2,601
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2	0
現金及び現金同等物の増減額	105	1,085	449
現金及び現金同等物の期首残高	25,798	26,248	25,798
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	25,904	27,333	26,248

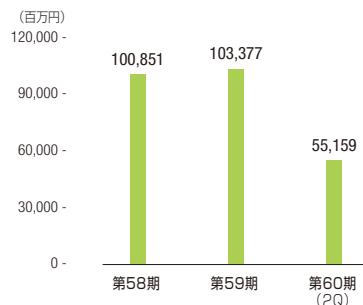
営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動の結果得られた資金は35億80百万円(前年同期は14億8百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が21億34百万円(前年同期比21億56百万円の増益)、減価償却費が13億28百万円で、売上債権の減少10億78百万円、未払金の増加4億94百万円等があった一方、たな卸資産の増加7億25百万円、法人税等の支払額3億28百万円があったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果使用した資金は13億65百万円(前年同期比8.1%減)となりました。これは主に、生産設備の増強及びショールームの移転・改装等有形固定資産取得に伴う支出が9億63百万円、情報システム構築に伴う支出が3億61百万円あったこと等によります。

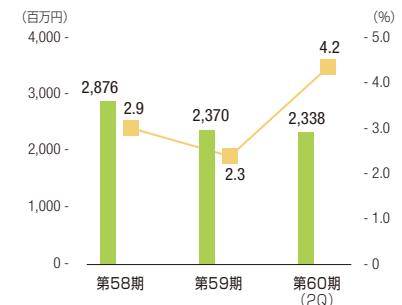
財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動の結果使用した資金は11億31百万円(前年同期は29億98百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入金の純減1億64百万円、長期借入金の約定返済6億83百万円、配当金の支払い2億33百万円があったこと等によるものです。

現金及び現金同等物の四半期末残高
これらにより、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末に比べ10億85百万円増加して27億33百万円となりました。

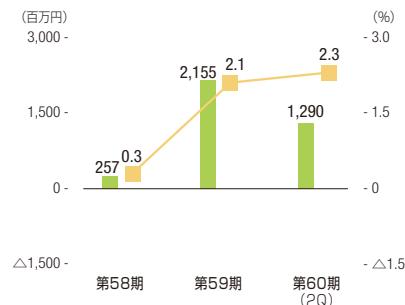
■ 売上高



■ 営業利益・営業利益率



■ 四半期(当期)純利益・四半期(当期)純利益率



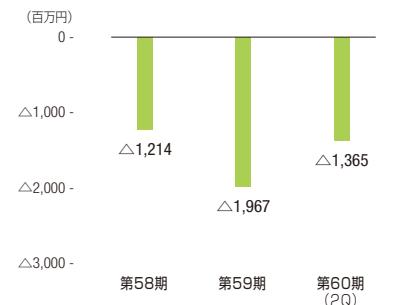
■ 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー



■ 投資活動によるキャッシュ・フロー



株主関連情報 (2012年9月30日現在)

■ 剰余金の配当について

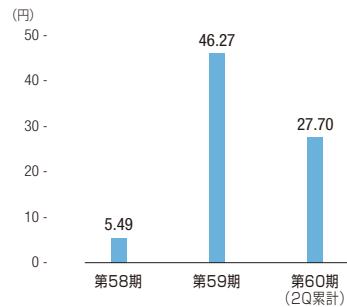
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営方針の一つと考えております。長期的な安定と成長を実現することにより最大の利益を上げ、安定的な配当を長期的に継続していくことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、新製品生産設備、営業拠点整

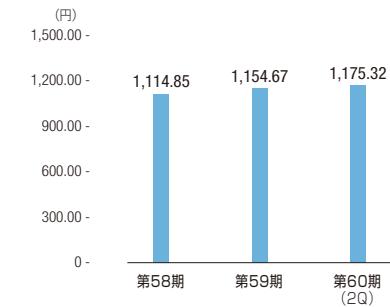
備、情報基盤整備等の設備投資に充て、効率的な経営による収益力の向上と資本効率の向上に努めてまいります。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株当たり5円とさせていただきます。また、当期の年間配当金は、中間配当を含め1株当たり10円の配当を予定しております。

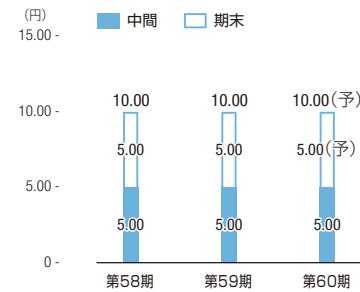
■ 1株当たり純利益



■ 1株当たり純資産

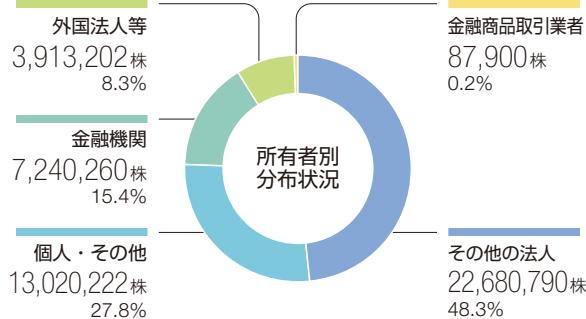


■ 1株当たり配当金



■ 株式の状況

発行可能株式総数	130,000,000 株
発行済株式総数	46,942,374 株
株主数	4,810 名



■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社井上	12,476	26.7
株式会社タカヤス	6,829	14.6
クリナップ社員持株会	2,264	4.8
クリナップ実業会	1,832	3.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,506	3.2
クリナップ共進会	1,476	3.1
ザバンクオブニューヨークフリーティージャスデックアカウント	1,243	2.6
井上 けよ	1,133	2.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	757	1.6
三菱UFJ信託銀行株式会社	693	1.4

注) 持株比率は自己株式(350,745株)を控除して計算しております。

会社情報 (2012年9月30日現在)

■ 会社概要

商号	クリナップ株式会社 Cleanup Corporation
本社所在地	〒116-8587 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号
電話番号	03-3894-4771(大代表)
創業	1949年10月5日
会社設立	1954年10月5日
上場	1990年2月6日 東証2部上場 1991年9月2日 東証1部指定
資本金	132億6,734万円
主要営業品目	厨房機器、浴槽機器、洗面機器、その他
社員数	連結：3,306名 / 単体：2,661名
主な事業所	支社：国内3カ所 支店：国内5カ所 営業所：国内121カ所 海外：香港支店、北京事務所 工場：四倉、鹿島システム、鹿島、湯本、クレート (いずれも福島県いわき市)

■ 役員

代表取締役社長	井上 強 一	常勤監査役	山根 康 正
取締役	加藤 亨 一	常勤監査役	山本 幸 男
取締役	小島 輝 夫	監査役	新谷 謙 一
取締役	小松 裕 恒	監査役	有賀 文 宣
取締役	鈴木 章		
取締役	松浦 昌 孝		
取締役	佐藤 茂		
取締役	屋代 光 昭		
取締役相談役	高嶋 信		

注) 監査役 新谷謙一及び有賀文宣の両氏は、社外監査役であります。



■ ショールーム (全国102カ所)

北海道支店ブロック	4カ所	静岡支店ブロック	4カ所
東北支店ブロック	13カ所	中部支店ブロック	13カ所
東京支店ブロック	24カ所	関西支店ブロック	26カ所
上信越支店ブロック	7カ所	九州支店ブロック	11カ所

お近くのショールームをホームページでご確認ください。

<http://cleanup.jp/>

*株主・投資家の皆さまに向けたIR情報(決算情報等)を掲載しております。
また、「商品情報」をはじめ、ホットな「新着情報」、さらに「生活情報」なども掲載しております。

